



【令和元年7月号】

清水小学校

校長 高井正樹

清水小学校を支えて下さるボランティアのみなさん



今年も書写ボランティアの皆さんによる学習支援が始まりました。3年生以上の書写の学習に、数名のボランティアの皆さんが支援に入ってくださいています。子どもたちの学習の様子を見守り、一人一人に応じた的確なアドバイスや励ましの言葉をかけてくださるお陰で、清水小の子どもたちは力強い素晴らしい文字を書くことができています。とてもありがたいことです。

五月会の皆さんには、今年も毎月読み聞かせをしていただいています。ゲームやタブレットのためでしょうか、最近の子どもたちは集中力が短時間で切れてしまいます。読み聞かせをしていただくことで、一つのことに集中し、静かにお話を聞く習慣を身につけることができています。



また、学校、保護者、地域の皆さんが、子どもたちの豊かな成長を支えるCS(コミュニティ・スクール)の一環として、



5年生の家庭科の学習のお手伝いに地域の皆さんが協力してくださいました。初めて「裁縫」に挑戦する子どもたちでしたが、「玉結び」や「玉止め」の仕方をしっかりとマスターすることができました。教師一人では行き届かない指導を補助していただくとともに、“熟練の技”を伝授していただき、子どもたちにとって充実した学習となりました。

御影小学校

校長 清水 弘

大運動会～仲間と力を合わせて～

6月8日(土)、御影小学校第103回目となる大運動会を実施いたしました。

当日の天気予報は降水確率10%の曇りでしたが、あいにくの天候となり、観覧された皆様にも寒い思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。それでも、子どもたちは力いっぱい

練習の成果を発揮して頑張りました。

競技のみならず、応援合戦、1～3年生のダンスや4～6年生のヨサコイなども、元気よく心を一につに発表することができました。また、低・中・高学年別の種目等でも上級生が下級生をリードする姿が立派でした。特に、6年生にとっては小学校生活最後の運動会でしたが、下級生に対してたくさんの気配りをする姿が、とても頼もしく大変立派でした。また、例年、先生方が吹いていた笛の合図も、今年度はできるだけ子どもたちが吹くようにし、自分たちで進行できるようにしました。係活動もしっかりと頑張った子どもたちでした。

リレーや綱引き等の種目でも、どの子も真剣な表情で自分の出せる力を精一杯出し切り、最後まであきらめずに頑張る姿が素晴らしかったです。仲間と力を合わせたり、仲間を一生懸命応援したりする姿も見られました。

子どもたちには、この運動会で高めた力や心をこれからの学校生活でも発揮し、更に成長して行ってほしいと思います。

保護者、ご家族、ご親戚の皆様、地域・関係者の皆様には、最後まで子どもたちに大きなご声援、拍手、励ましの言葉をいただいたり、温かく見守っていただいたりしたことに深く感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

今後も、御影小学校職員一同、「すべては子どもたちのために」を合言葉に、一丸となって努力してまいりますので、皆様の変わらぬご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



清水中学校

清中花壇がますます美しく

5月に各学級と町内会の方々に苗植えを行った本校の花壇がすばらしい。放課後には生徒たちが花に水を遣ったり、雑草取りをしたりして丁寧に管理を行っています。晴れの日には鮮やかな赤や黄色、ピンク、紫、白と生徒や見る人の心を癒やしてくれます。是非一度、清水中学校校舎

前の花壇をご覧くださいと思います。



書写ボランティアに感謝

7月5日（金）2年国語の「書写」の授業に4名の書写ボランティアの方が見えられ、地域と連携した教育活動が進められています。毎年、たくさんの方から生徒一人一人に丁寧にご指導いただいております。十勝こども大会の「書道」の部において、毎年、本校から上位に入選する生徒が多いのは、きっとボランティアの皆様による継続した指導の賜物であると深く感謝申し上げます。



（教頭 須藤 正博）

御影中学校

校長 塚原 雄二

変わる授業 主体的で対話的で深い学びを実現する新学習指導要領から

1. 考え議論する道徳の授業

～今年度から教科に 道徳の教科書を使用 多様な価値観を共有する道徳に～

現在、小中学校では道徳教育で大改革が進められているのを皆さんはご存知でしょうか。道徳教育の質的転換を図るため、小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度（令和元年度）から「特別の教科 道徳」となっています。そして「教訓的な物語の読み解き」中心の授業から、「考え、議論する道徳」の授業へ変化しています。

「道徳の授業」と聞いて、皆さんはどんなイメージがあるのでしょうか。教訓的な物語を読み、登場人物の心情を想像し、最後に「いじめはいけないと思いました」といった、言葉は悪いですが表面的な模範解答を述べてオシマイだった印象がないでしょうか。今までの道徳教育は、「登場人物の心情の読み取りのみに偏り、望ましいと思われることを言わせたり書

かせたりする指導に終始している」と見られていました。

そういった反省から、現在道徳教育改革が進められています。「特別の教科 道徳」として新たに教科となり（今までは教科ではなかった）、検定教科書が作られ、学年ごとに身につけさせたい道徳的価値が明示され（例えば「善悪の判断、自律、自由と責任」など）、評価も行われるようになりました。



授業の内容も大きく様変わりします。「教材文の読解」ととどまらず、自分の考えを基に話し合ったり、道徳に関する体験的な学習を取り入れたりすることによって、「考え、議論する道徳」に向けた質的転換を図ります。そして「特別の教科 道徳」を学校で行う道徳教育の要として他教科や特別活動などとリンクさせ、そこで学んだ道徳を学校生活に活かせるように、ひいては自分の人生に活かせるようになることを目指しています。

教室の中からいじめだと思ふ行動を探そう
また、それはなぜだと思ひますか
グループで話し合おう

御影中学校でも、道徳の授業の質的変換を図り、担任だけではなく、副担任も授業を行っています。ICT 機器の活用も同時に行われ、生徒一人一人の考えを生かした授業展開が図られています。

2. タブレットを使用した授業

～ICT(情報通信技術)の効果的な活用を図って 主体的・協働的な学びの実現を目指す～



御影中学校の道徳の授業の様子

教科書を使って、ICT 機器を使って、担任だけではなく学年団の先生が、各題材を担当して、生徒の主体的な活動を引き出し、生徒のいろいろな考えを生かしながら進めています。教科書も画像や挿絵、アニメーションも掲載された工夫されたものになっています

現新学習指導要領では、教育における ICT（情報通信技術）の活用は、子供たちの学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や子供たちの主体的・協働的な学び（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）を実現する上で効果的であり、確かな学力の育成に資するものと言われています。また、ICT を活用することによって、一人一人の子供たちの能力や特性に応じた「個別学習」や、子供たちが教え合い学び合う「協働学習」の効果的な実施が可能になります。文部科学省では、教科指導等における ICT の効果的な活用によって子供たちの主体的・協働的な学びや学力の向上を実現することを目指しています。

清水町では教育機器の整備によって、御影中学校でも一人一台のタブレットが配置され、

昨年度から各教科でタブレットを使用した授業が展開されています。教科によって、調べ学習の時やグループ学習の時、または授業の導入や展開、まとめの場面で効果的に使用されています。子どもたちの反応も非常に意欲的です。さらに研修を重ね、主体的・協働的な授業展開を実現する予定です。



国語の授業から、調べ学習の様子



道徳の授業から、ラインの返信を考える



自然体験学習、班活動調べ学習



道徳の授業から、いじめだと判断した場面は

清水高等学校

校長 平野道雄

行事三連発 その① スポーツフェスティバル！

6月21日（金）、本校生徒会主催の体育的行事「スポーツフェスティバル」を行いました。昨年にも増してたくさんの保護者や地域の方々が見守る中、新種目の「借り物競走」、「台風の目」を取り入れるなどした午前中の競技は順調に進み、出場選手たちは和やかな中でありながら、真剣に力を出し合いました。また、自分のクラスを応援する声も徐々に高まっていました。

午後になると心配していた雨が降り始め、起床から出勤までの身支度などを整えながらゴールする名物種目の「出勤5分前」は残念ながらカットとなりましたが、一日を通して、生徒会執行部や体育委員などを中心に、全生徒がそれぞれの役割をしっかりと果たす姿が見られ



【思わず力が入る綱引き】



【しだいに熱を帯びる実況】



【優勝したのは3年A組】

ました。

行事三連発 その② 全校応援！！

6月25日（火）、第101回全国高校野球選手権大会北・北海道大会十勝支部予選の1回戦に本校が登場し、晴天の中、全校応援を行いました。清水高校の一員としての自覚や諸活動への意欲を高揚し、相互に認め合い、励まし合う態度などを育成する教育活動としての全校応援は、大会規模や会場の状況、曜日や時間、授業時数や他の行事への影響、生徒の移動手段の確保などが条件となりますが、野球部のこの大会の応援は今年で3年連続で実施することができました。

今回は、中心となる生徒会執行部と吹奏楽部に、アイスホッケー部員や助っ人演奏者を加え、事前の昼休みに練習した、得点後の「第九」のメロディーも全生徒で響かせることができました。試合には敗れましたが、所期の目的を達成し、大きなものを得ることができました。



【対戦相手も全校応援】



【揺れる赤メガホン】



【助っ人も加わった吹奏楽部】

行事三連発 その③ 学校祭！！！！

7月6日（土）～7日（日）、第72回清高祭を開催しました。1日目、学級単位でテーマに基づき寸劇や歌、踊りなどを行うアトラクション。昨年は雨天だったため体育館で実施しましたが、今年はグラウンドで、保護者や地域の方の前でのびのびと活動できました。3年目になる北海道大学よさこいサークル「縁」との総踊りも盛り上がりを見せていました。

2日目は一般公開。垂れ幕や、今年初の試みである階段装飾が校舎内を華やかに彩り、教室展示には回るコーヒーカップやシーソー、トロッコや滑り台など大がかりな装置が登場、制作の苦勞と安全への配慮が感じられました。模擬店では、生産技術系列食品分野のレストラン「ポルタフォルトーナ」に開店前から長い行列ができました。保護者や地域の方々の協力による恒例のPTAバザーにはたくさんの方のお手伝いをいただき、また屋外でのイカ焼きは早々と売り切れるほど盛況でした。学級ごとの飲食ブースも、焼きそばや焼き鳥などの定番メニューに加え、新メニューもあり、ドリンクやデザートなど幅広く取りそろえられ、お腹が満たされました。

限られた時間を有効に使う準備が進められ、コンパクトな日程の中で、生徒はいきいきといい表情で過ごし、バリエーション豊かな催しに、生徒や来校された方々それぞれに楽しんでいただいた学校祭になりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



【開祭式 書道パフォーマンス】



【この壁一番で賞 2年B組】



【垂れ幕大賞 1年A組】



【アトラクション大賞 3年C組】



【模擬店大賞 2年A組】

清水幼稚園

園長 帰山 孝美

【第42回運動会】天候には勝てず，2年ぶり体育館で

ゴールデンウィーク明けから練習が始まり、1か月半のロングランの集大成。残念ながら前日の雨のため、小学校体育館での開催となりました。5月中は気温が高く、風が強い日に悩まされ、グラウンドには消防署の協力で散水までしたこともありました。6月に入ると適度にお湿りがあり、コンディションには恵まれ、総練習は日差しも強く、額に汗がにじむ運動会日



和の最高の天候でした。父母会の役員さんとの打ち合わせもばっちりできていたので、グラウンドでさせてあげたかったです。

しかし、良いこともありました。一昨年まで3年間体育館で行っていたので、準備の手際は慣れていたので予定よりもスムーズにで

きました。グラウンドと同じようなトラックも工夫して整備できましたので、ほとんど不具合なく実施することができました。年長・中にとっては初めてのパラバルーンも大成功でした。多くの応援団がいる中、少々緊張気味でしたが、たくさんの声援を受け一生懸命取り組んでく



れました。子どもたちを温かく包んでいただき感謝しています。

祖父母の皆さんの「玉入れ」、保護者の皆さんによる「カモン」など笑いの中での楽しい一時となりました。また、父母と先生の会役員の皆様には、総練習はじめ多くのお手伝いをいただき、運動会を盛会裏に導いていただきました。当日の早朝に、多くのお父さんたちがかけつけ、万国旗張りを手伝っていただけただことにも感謝です。



第一保育所

友だちと手を繋いで歩けるよ！

15名の元気な1歳児の子どもたちは散歩が大好きです。最初は友だちと手を繋ぐことが出来ず、半分の子は散歩車に乗り、半分の子は保育者と手を繋いで散歩へ行っていました。6月に入ると、体力も付き、足に力を入れて歩くことも上手になってきました。すると、だんだん友だちと手を繋いで歩くことも出来るようになり、今では全員で歩いて散歩へ行けるようになりました！！

1歳～2歳の子どものも、友だち同士刺激を受け合い少しずつ力をつけ、成長する姿に喜びを感じる日々です。保育所から神社や町営球場、幼稚園の方などいろいろな所へ行けるようになり、天気の良い日は散歩を楽しんでいます。



(保育士 増谷 妙子)

消防車が来た 避難訓練

毎月、保育所で避難訓練を行っています。6月の避難訓練は火災の避難訓練をし、消防車が来て放水する様子を見せてくれました。子ども達は、勢い良く水が出る様子に「すごーい！」「かっこいい」と興味を持って見ていました。



最後に消防署員の方が、全員が避難するまで、去年より3秒短くなった事を知らせてくださいました。たった3秒と思うかもしれませんが3秒でも命が助かること、火事で避難するときには、早く逃げるのがとても大事なこと、「お・か・し・も」のお約束の大事さなども教えてください、これからのためにも子ども達とお約束の確認をしました。

(保育士 渡辺 慶子)

第二保育所

わ~い 新しい絵本だ~！！

6月になり、新しい絵本が保育所に届きました！！小さな“ねずみ君の絵本”やみんなが大好きな“だるまさんの絵本”大型紙芝居の“ご機嫌のわるいコックさん”等たくさんの絵本が増えました。新しい絵本を紹介すると子ども達は大喜びで、絵本に興味津々！！絵本の読み方を確認し、ぴかぴかの絵本がボロボロになってしまわないように、みんなで大事に読むことを約束しました。



大型絵本は行事でも大活躍！！“給食番長”では迫力のあ
る絵に子ども達は目を大きく開けて集中して見ていました。



読み終わった後には、第二保育所の給食は「美味しいもんね~」「残したりしないもんね~」と給食をしっかりと食べている事をアピールしていました！

絵本や紙芝居を通して様々な物語に触れ、心の豊かな子ども達になってもらえると嬉しいなと思います。

(保育士 古田 琴乃)

楽しかったバス学習(4才, 5才)

7月3日(水)カルビーのじゃがりこ工場を見学してきました。工場では、じゃがりこが出来上がるまでの工程を見ることが出来、たくさんのじゃがりこが流れる様子に子どもたちは驚いた表情で見つめていました！！見学の後はじゃがりこの由来や1日に食べても良いお菓子は200カロリーであることなどを教えてもらいました。ジャガビーやじゃがりこの試食もして大満足の子も達！！



「さあここで皆さんにクイズです！ジャガビーやじゃがりこには、じゃがいもがいくつ入っているのでしょうか？」「実は、ジャガビーには1個、じゃがりこには2個のじゃがいもが入っているのです。」勉強になりました。

グリーンパークでは珍しい遊具が沢山あり、その中でも一番人気は長い滑り台でした。芝の上で皆で一諸に食べたお弁当は格別！！笑顔が満ち溢れていました。楽しかったぶん帰りのバスの中では、疲れて眠ってしまった子どももいました。お天気にも恵まれ、ステキなバス学習となりました。

(保育士 平井 浩美)

☂ 雨の日の運動会でした ☂

6月16日日曜日は、御影こども園の運動会でした。週間天気予報を見ているとその日は雨。場所が変わって子ども達が緊張しなければ良いが…と心配しながらも、前日から改善センターで運動会をすることを決定し、準備を進めました。

当日はやはり雨。でも、改善センター内は、運動会仕様に華やかに変身していました。父母会役員や、場所取りに来ていた保護者の皆さんにお手伝いいただき、こども達お手製の旗やスズランテープのコーナー、手作り入場門で可愛く飾られた会場で、子ども達は元気に運動会をすることが出来ました。

小さいお友達が泣いたり、走ると靴が脱げてしまったりするハプニングもありましたが、ほぼいつも通りの姿で競技に参加していた子ども達です。

年長さんの縄跳びをまじえたかっこいい運動遊び、3・4才の可愛いバルーン他、父母や祖父母の競技、親子競技も盛り上がりました。4・5才のリレーは接戦！応援にも力が入りました。

8年ぶりだった室内での運動会ですが、忘れられない思い出となって子ども達の心に残るのではと思います。8年前は保護者の人数も多く、会場が暑かった記憶があるのですが、時代の移り変わりですね。座る場所に余裕があり、会場も涼やかだったのが、印象に残りました。



♪♪ 楽しい水あそび ♪♪

今年は、5月でも30度超える暑い日がありましたね。園では、運動会前から各ご家庭に、水遊びの準備をして貰いました。運動会も終わったので、早速水あそび！！朝から桶に水をためて、子ども達が出てくる頃、ちょうど良い温度になっているように準備します。温水が出る水道からホースも準備。準備が終わったクラスから、次々に水遊びに出てきました。大きい子はTシャツにスパッツ、小さい子はTシャツにおむつ姿で、水の入った桶から水をすくったり水鉄砲をしたり、思い思いにあそびます。容器に入れて、おままごとをする子もいますね。泥水ができると、その水で遊ぶ子もいます。泥水で足をバシャバシャさせるのも楽しいですね。



日差しが強い日は、園長先生がタープ（日よけのテント）を立ててくれるので、その下で遊びます。

たくさん水遊びを楽しんだ後は、ぐっすり眠り、楽しい一日を終える子ども達なのでした。

（保育士 田村 暁子）

教育委員会



5月31日から3日間にわたり清水小学校の5年生の家庭科(裁縫)の授業の支援として女性セミナーの皆さんがボランティアとして支援活動をされました。

先生の指示により「玉結び」「玉止め」作業が始められ、熱心に取り組むも悪戦苦闘の児童があちらこちらに。

地域の方の協力により緊張気味の生徒もすぐに慣れ、丁寧なアドバイスを受けながら見事に完成させていました。

ボランティアとして補助をされた方々も「楽しかった」「また、機会があれば」「普段、学校に足を運んだことがなかったのでよい機会だった」等と口々に述べられていました。

コミュニティ・スクールの目的の一つでもある学校と地域を結びきっかけとなり、子どもたちにとっても普段接することの少ない地域の人との関わりは良い刺激となったことでしょう。



(コミュニティスクール コーディネーター 上出 進)



家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

夏〜かぐわしい香りの中で 志(夢)大きく高く

**家庭・学校・地域
今月の取組**

**家庭は、できたら褒めて
一事徹底**

**地域は、みんな元気に
笑顔で挨拶**